

地域支援可能シーズのタイトル：

自律的な安全安心情報共有システムの開発



(ふりがな) 氏名	うらかみ みさこ 浦上 美佐子	E-mail	urakami@tokuyama.ac.jp
		電話番号	0834-29-6307 (研究室)
		FAX 番号	0834-28-7605 (総務課)
職名	教授	学位・資格	博士 (理学) (山口大学)
所属学会・協会	情報処理学会、電子情報通信学会、日本航海学会、日本教育工学協会		

地域支援可能シーズの名称および概要

平常時／非常時における安心安全のための情報共有を自律的におこなうシステムを開発することを目的として、無線によるコンピュータネットワークを用いた自律的な情報提供システムの開発や、情報弱者（高齢者や小学生等）向け ICT 利活用のための支援モデルの提案等を行っています。

1) 自律的無線ネットワークによる被災情報提供システム

災害後に各避難所に無線 LAN 基地局を設置し、バッテリー等により電源を供給するだけで、無線回線の設定や被災情報の交換・共有を自動的に行い、災害対策本部における被災情報の早期把握を目指しています。

2) 沿岸海域における船舶を利用した情報共有システム

災害後に孤立化が問題視されている中山間地域と同様の条件を持つ離島に着目し、離島付近を航行する運航船に無線 LAN を導入し、沿岸海域における情報共有の実現を目指しています。

3) CLASS B AIS (簡易 AIS) の記録データを利用したアプリケーション開発

海上交通情報の精度向上のため、小型船舶への Class B AIS の普及を目指すため、リアルタイムな衝突回避目的の使用だけではなく、簡易 AIS の発展的使用を推進するためのアプリケーションの開発を行っています。

4) 高齢者向け ICT 利活用のための公開講座等の実施

開発システムの平常時利活用法として、高齢者の QOL (Quality Of Life、生活の質) 向上のための「高齢者向け ICT 利活用のための支援モデル」を提案し、公開講座等を実施します。また、DIG (災害時図上訓練) や ICT を用いて独自開発した ICT-DIG を用いた訓練も提案します。

5) 防災出前授業の実施

第一のサバイバル (自分の命は自分で守る) をテーマに、非常時の初動対応の方法は？ 安心安全のための情報とは何か？ 連絡方法は？ といった内容で、小中学生向けの防災出前授業等を実施します。

適用実績

提供可能な設備・機器・解析ソフト・教材・ビデオ・PPT 等の名称・型番 (メーカー) 及び概要
